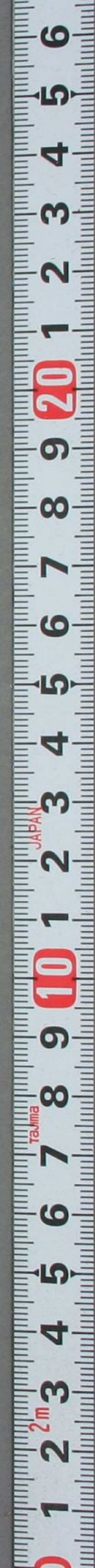


和洋書

関流
以希法草術
善合
卷十三

708
105



門 = 2
號
卷

關流算法草術卷之十五

差分 後編

上下のえ浪今く百拾七分有上等式割下等式割
すの利と加し利浪同粒小還に各え浪の程を向

言ふ 上え浪六拾二分 下え浪八拾二分

利浪各拾二分

漸く先上下の利浪各を分りしめてえ浪とす

上の利を分 けええ



下の利をぬ けえにぬ

上下のえ合くぬとけりて有^{百拾}限と除く^拾と

けり同法と上^拾の率知^{六拾}とて上^拾のえ限^拾とけり

下の率知^{八拾}とて上^拾のえ限^拾とて

利限率^拾とて上^拾のえ限^拾とて

え限合く^{百七拾}とて上^拾のえ限^拾とて

利とぬく^拾とて上^拾のえ限^拾とて

え限の利帰^拾とて

上^拾のえ限^拾とて上^拾のえ限^拾とて

下^拾のえ限^拾とて上^拾のえ限^拾とて

え限の利^拾とて上^拾のえ限^拾とて

漸^拾とて上^拾のえ限^拾とて

上^拾のえ限^拾とて上^拾のえ限^拾とて

下^拾のえ限^拾とて上^拾のえ限^拾とて

上下^拾のえ限^拾とて上^拾のえ限^拾とて

と除く^拾とて上^拾のえ限^拾とて

上^拾のえ限^拾とて上^拾のえ限^拾とて

下^拾のえ限^拾とて上^拾のえ限^拾とて

利根根^{は百}式と得^は

上^は式割下^は式割すの利^はして^は之根同^は小借^は今^は上
下^は之利^は合^はく^はま^は貫^は七百^は拾^は六^は文^はと^は還^は入^はる^は之根^は及^は利根^はは^は範
同

之^は根^は七^は百^はなり

上^は利根^は百^は拾^は六^は文^は 下^は利根^は百^は七^は拾^は六^は文^は

漸^は之^は之^は之^は根^はを^はと^はして^は利根^はと^は也

上^は之^は根^はを^は之^はの^は利根^は式^は分^はた^はなり

下^は之^は根^はを^は之^はの^は利根^は式^は分^はた^はなり

上^は下^は之^は利^は率^は合^はく^は武^は文^はと^は也^は有^は根^は拾^は七^は百^はと^は除

く^は七^は百^はと^は也^は同^は法^はと^は之^は利^は率^はを^は小^は算^はして^は之^は根

を^は七^は百^はと^は也^は上^は利^は根^は率^は武^は文^は同^は法^はと^は算^はして^は上^は利^は根^は百^は拾^は六^は文^は

と^は也^は下^は利^は根^は率^は武^は文^は同^は法^はと^は算^はして^は下^は利^は根^は百^は七^は拾^は六^は文^は

也

上^は下^は之^は割^は下^は式^は割^はす^はの^は利^はを^はして^は之^は根^は同^は程^は小^は借^は今^は上^は下

の^は利^は根^はを^はして^は八^は貫^は八^は百^は文^は有^はる^は之^は根^は及^は利^は根^は行^はむ^は同

之^は根^は七^は百^は拾^は六^は文^は

上^は利^は根^は百^は拾^は六^は文^は 下^は利^は根^は百^は七^は拾^は六^は文^は

漸之之各之浪を之とて利浪と得ル

上之浪を之 利浪三三

下之浪を之 利浪式三

上下の利浪合々六三と得るは有浪八五八と除く六三

と得る同法と各之浪率を小算して之浪を拾六と得

上利率を三小同法と算して上利浪二五五と得 下

利率を六小同法と算して下利浪四二五と得

浪に黄式百七拾八とて上中下小備以上之利中六式割

中下之利式三の利とて各利浪同程小之各

利浪及之浪何程と問

答云 利浪各式百七拾八

漸之之各之浪を之とて利浪と得ル

上之浪を之 利浪三三

下之浪を之 利浪式三

漸之之各利浪を之とて之浪と得

上利浪を之 之浪六五三六三

中利浪を之 之浪四二

下利浪を之 之浪八五三三三

上中下之浪率令_レ九_拾と_レす_レ有浪_{七拾}と_レ除て

武_百と_レす_レ因法と_レす_レ各利浪率_{五拾}と_レす_レ利浪

各_拾と_レす_レ上之浪率_{六拾}と_レす_レ上之

浪_百と_レす_レ中之浪率_{七拾}と_レす_レ中之浪

九_百と_レす_レ下之浪率_{八拾}と_レす_レ下之浪

七_拾と_レす_レ

浪武拾二貫九百八拾七文と_レす_レ上中下小端_五と_レす_レ武割

中_二武割_一と_レす_レ下_二武割_一の利と_レ加_レて_レ上_二武割_一の利と_レ加_レて_レ上_二武割_一の利

各_二武割_一の利及_レ之_二浪_一の_二利_一と_レす_レ

上之浪八貫二百武拾文

中之浪七貫九百八拾七文

下之浪七貫二百八拾文

上之利和を_レ取_レて_レ上之浪と_レす_レ

中之利和を_レ取_レて_レ中之浪と_レす_レ

下之利和を_レ取_レて_レ下之浪と_レす_レ

上中下之浪率令_レ九_拾と_レす_レ

武_百と_レす_レ因法と_レす_レ各利浪率_{五拾}と_レす_レ利浪

除く九千九百と均法とて各之利和率を小

算して之利和九千九百と均法とて各之利和率を小

均法と算して上之利八千九百と均法とて各之利和率を小

均法と算して中之利七千九百と均法とて各之利和率を小

均法と算して下之利七千九百と均法とて各之利和率を小

上下式を利和と借し上式割五分下式割五分の利と名へ

と下利均同程を上式借上式下式之利八百拾貳分

各利均及之利均を名へ

言ふ 利和九千九百九拾八分

上之利二千八百拾分

下之利二千九拾分

漸次之利和を算して之利均と

上利均を算し之利二千八百拾分

下利均を算し之利二千九拾分

上之利均率二千八百拾分と下之利均率二千九拾分と減し

て解二八二と均法とて各之利均率を小算して利和を

均法と算して各之利均率を小算して利和を

均法と算して上之利均率二千八百拾分と均法と算して

上之元利 三貫八百 下之元利 二貫 同法と云

下之元利 三貫三百 得

元利同利上下或人下借一上或割下は其割の利小利
と云して上をきき率下は或年の利割合は其貫百六拾
九あり其利元利元利何れと云

上利元利 貳貫百八拾

下利元利 貳貫百八拾九

元利 拾貫九百

此の元利元利をききして利元利と云

上之元利をきき けききき年分の利元利

下之元利をきき けききき年分の利元利

上下利元利割合 六拾九 利元利 六拾九

と除く 九百 同法と云 上利元利 貳貫

下利元利 貳貫 同法と云

法と云して下利元利 貳貫 同法と云

同法と云して各元利 拾貫 同法と云

上中下三人下之元利同利小借一上をきき割す

是年中を或割す 或年下を二割す 二年を

利不利とありて二人の利根合々二百三拾五貫。或拾
八匁有各之根及利根何程と問

答云 之根各七拾六貫文

上利根拾五貫武百八拾文

中利根二拾三貫文

下利根八拾九貫七百七拾六文

此云先各之根を文として利根と也

上之根を文 け三年分利根を分るる

中之根を文 け武年分利根を分るる

下之根を文 け三年分利根を文を分る九中七元

上中下利根率合々七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也

武拾八匁と除く七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也

同じて之根各七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也七拾六貫文と也

系して上利根拾五貫武百八拾文と也拾五貫武百八拾文と也拾五貫武百八拾文と也拾五貫武百八拾文と也

法と同一く中利根二拾三貫文と也二拾三貫文と也二拾三貫文と也二拾三貫文と也二拾三貫文と也

七七拾六貫文と系して下利根八拾九貫七百七拾六文と也八拾九貫七百七拾六文と也八拾九貫七百七拾六文と也

元根は貫八百八拾五匁一武割寸の利と利と加へ

毎年同様十二年小還は毎年還法何程と問

第六 毎年式貫の百文

此の三年毎毎年三より還入割合小して是れ元取
とゆへに減額とる尤のこゝ

二年目昔年減額とて元利率二入を除く式年月
昔減額とゆへに年減額と加へて昔元とゆへに

二年目昔元利率とる

二年目昔元利率とる元利率二入を除く初

年昔元利率とゆへに年減額と加へて昔元とゆへに

初とゆへに初年昔元利率とる

初年昔元利率とる元利率二入を除く初

年元取とる元利率とる

元取とる元利率とる元利率二入を除く式子入百文

とゆへに同法とる年減額と加へて毎年の年

減額とる

元取とる元利率とる元利率二入を除く式子入百文

とゆへに同法とる年減額と加へて毎年の年

減額とる

とる

言云 之浪七貫百文

上利浪を賣に百貳拾文

下利浪に買八百九拾九文

漸之之各之浪を賣として各率とす

上之を賣 之利和を賣貳分 利貳分

右之率とす

下之を賣 之利和を賣六分九厘 利六分九厘

右之率とす

下之之利和率を賣六の内の之利和率を賣貳分と減して

解九分とす 之浪二貫四百七拾九文と除く七百とす 同法

とす 上下之浪率を賣小宗として之浪七貫百文とす

上利和率を賣小同法とす として上利浪を賣百貳拾文とす

下利和率を賣小同法とす として下利浪を賣八百九拾九文と

す

浪二百文とす 小借に甲の貳割し 貳割申す 丙を二割の
利と和して 甲丙或人の之利和としての之利和とす

又甲と丙と之浪同程たり 各之浪及利浪何れとも

言云 甲之浪七拾八文 利浪拾八文

し之根百八拾五 利根三拾七五五分

丙之根七拾八五 利根貳拾貳五分

術云甲丙之根各々をとりて之之根率とす

甲之根五 之根根を五式に 甲率とす

丙之根八 之根根を八式に 丙率とす

類小甲丙式人の之利根とこの之利根と等しとす

左よ甲丙式人の之利根率令く^式とす之利根率

として却てこの之根率とす

乙之式五・之利根式五五分 乙率とす

甲乙丙之根率令く如とす^乙之根^三百と除く七拾

八とす^丙同法とす^甲之根率^五小^五として甲

丙之根^七拾^八とす 乙之根率^式又同法とすとして乙

之根^百八^拾とす^術と推く各利根とす

根式貳百八拾五とす^人小倍に甲を割しを割^人を丙を

割^人とす割の利と甲の之根とこの之根と等しとす

又丙の之根と丁の之根と等し又甲乙の之利根と丙丁の

之利根と同程なり甲乙丙丁之根及利根何れも同

言云 甲乙之根各百八

甲利根三拾五
乙利根二拾三

丙丁之浪者入百拾五

丙利浪八拾五
丁利浪百拾五

漸云先甲し之浪者をぬきしめて之を利和率と得

甲之をぬき 之利和をぬきしり 甲率と云

乙之をぬき 之利和をぬきしり 乙率と云

甲し之利和率令く 式を式に 丙丁之利和率と

丙丁之浪者等し 各元浪と云 之を割す丁に三割

浪率と求むと九のこし 式を式に

丙之をぬき 之利和をぬきしり

丁之をぬき 之利和をぬきしり

丙丁之利和率令く 式を式に 之を割す

九分のこし 式を式に 丙丁之浪率を小くして

丙丁之浪者九分と云

丙之九分 之利和をぬきしり 丙率と云

丁之九分 之利和をぬきしり 丁率と云

右甲し丙丁之浪率令く 式を式に 之を割す

と除く六百と云 式を式に 甲乙之浪率を小

くして甲乙之浪者 式を式に 丙丁之浪率を小くして

素して西丁之浪を^{八百}拾^八と^はる^は術と推く^はる^は利浪
と^はる^は

浪六貫武而八拾八と^は武割すの利おして二年^は借入
利お^は利^は但武年月^は初年の^は二^は武^はり^は二年^は初^は年の
二^は一^はり^は皆^は海^はの^は毎^は年^はと^は新^はの^は利^はと^は向

言云 初年^は四貫^は六^は百^は月 次年^は二貫^は月

二年^は三貫^は六^は百^は月

題^は二年^は月^は初^は年の^は二^は一^はり^は二年^は月^は初^は年の^は二^は一^はり^は
と^はる^はと^は一^は九^は一^はと^は初^は年の^は年^は毎^は年^はと^は武^は年月^は

武^は二年^は月^はと^は武^はなり^は割^は合^はよ^はして^は元^は浪^は率^はと^は表^はて^は術^は浪
と^はる^は

術^は云^は二年^は月^はの^は昔^は年^は毎^は年^は浪^はと^は元^は利^は率^は二^は八^は一^は除^はく

二年^は月^はの^は昔^は年^は毎^は年^は浪^はと^は二年^は月^は年^は毎^は年^は浪^は加^はく^は二年

月^はの^は昔^は元^は利^は浪^はと^は武^はと^はる^は

二年^は月^は昔^は元^は利^は浪^はと^は武^はと^は元^は利^は率^は二^は八^は一^は除^はて^は初^は年

の^は昔^は年^は浪^はと^は武^はと^は初^は年^はの^は年^は毎^は年^は浪^はと^は加^はて^は初^は年

の^は昔^は元^は利^は浪^はと^は武^はと^はる^は

初^は年^はの^は昔^は元^は利^は浪^はと^は武^はと^は元^は利^は率^は二^は八^は一^は除^はく

初年の元利 元金を分とけり法とん

云 元金二百 元利 八十 とけり法と除てふ入百とけり同はと

事 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元利 元金 とけり法と除てふ

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

元金 元金 初年の年利 元金 初年の年利

宗一て下之根^{六拾}とゆふ茶粥と推して其利息と
ゆふ

又粥云

上之根率を名六分六厘 之利息率を名七分五厘
中之根率を名八分二厘 之利息率を名二分五厘
下之根率を名三分二厘 之利息率を名七分五厘
上中下之根率合して^{六分七}とゆふとゆふ之根^{六分八}と除
て六十とゆふ同法とて茶粥と推して各之根及利息
とゆふ

根を貫百に拾或名式分八厘一五二と式割すの利と以
三年根お清に利と利但初年と終年同程は還以
中の年ハ百多多く還以毎の還根各は根と向
とゆふ 初年終年各ハ百に拾七名式分二厘

式年月六百に拾七名式分二厘

粥之初年と終年と同しく中の年ハ百多多くとゆふ
初年終年とて並之利息率二入とゆふ二次除^{六拾}
ゆふ是初年と式年月の昔よりゆふと之利息百多と
得るの之根とゆふ之根^{六分八}と除^{式分二厘}の用と減とて

竹 武分 ^{百六拾八} _二 と実とん才十同の術は 元 元

を ^{百九} _二 とつと を ^{百九} _二 とつと を ^{百九} _二 とつと を ^{百九} _二 とつと

因法とん を ^{百九} _二 とつと を ^{百九} _二 とつと を ^{百九} _二 とつと

浪 ^{百七拾} _二 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

二年目選浪 ^{百六拾} _二 を ^{百六拾} _二 とつと

浪 ^{百七拾} _二 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

等 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

等 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

何れとん

初年二年各百七拾七

武年二百七拾七

二年百七拾七

元利和率 ^{百七拾} _二 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

元利和率 ^{百七拾} _二 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

元利和率 ^{百七拾} _二 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

元利和率 ^{百七拾} _二 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

元利和率 ^{百七拾} _二 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

元利和率 ^{百七拾} _二 を ^{百七拾} _二 とつと を ^{百七拾} _二 とつと

わろくは年減毎々を算しつゝ割合よりしるす之れ
とすは漸次とす

四年目年減毎々之れ利率二入二入小除く二年目
年減毎々之れ年減毎々之れとす二年目年減之れ
減るは年減毎々

二年目年減之れ減るは年減毎々之れ利率二入二入小除く
二年目年減毎々之れ年減毎々之れとす二年
目年減之れ減るは年減毎々

二年目年減之れ減るは年減毎々之れ利率二入二入小除く

初年若くは減るは年減毎々之れ利率二入二入小除く
初年若くは減るは年減毎々之れ利率二入二入小除く

初年若くは減るは年減毎々之れ利率二入二入小除く
初年若くは減るは年減毎々之れ利率二入二入小除く

初年若くは減るは年減毎々之れ利率二入二入小除く
初年若くは減るは年減毎々之れ利率二入二入小除く

得る額より減る年減毎々之れとす

減るは年減毎々之れ二年減るは年減毎々之れ初年
減るは年減毎々之れ二年減るは年減毎々之れ初年
減るは年減毎々之れ二年減るは年減毎々之れ初年

一 毎年還浪何程と云

答云 毎年還浪二百は拾二文五分

御云之三年減毎年を文一として之還しは三年
目年減浪文として元利和半^{九。九。九}に除く二年目若沙浪^{九。九。九}
^{九。九。九}とわす年減浪文加しく二年目若元利浪^{九。九。九}
とわす

二年目若元利浪^{九。九。九}とわす元利和半^{九。九。九}に除て

初年若くは浪^{九。九。九}とわす年減浪文加しく初年若

元利浪^{九。九。九}とわす

初年若元利浪^{九。九。九}とわす元利和半^{九。九。九}に除

く元利率^{九。九。九}とわす法とわ

之浪^{九。九。九}とわす法と除く二百は拾二文五分とわす同

法とわす年減浪文加しく毎年の年減浪^{九。九。九}

に拾二文五分とわす

之浪^{九。九。九}とわす元利和半^{九。九。九}の利とわす二年減^{九。九。九}

初年若くは浪^{九。九。九}とわす元利和半^{九。九。九}の利とわす二年目二年目の半五分

とわす毎年の年減浪何程と云

答云 初年九百文 二年半を文五分 二年六百文

初年二年目の初年より二分多し一より二分多しと申す之れ利率
二入と云ふ二次降くと申すは申すは又三年目二年目の
少く二より二年目の多しと申すは二入と申すは元利利率
二入と云ふ二次降くと申すは申すは云々云々二入と申すは
甲と云ふと係減して降くと申すは二入と申すは云々云々
類と云ふと係減して降くと申すは二入と申すは云々云々
三年後より倍々二年目より初年より一より二年目二年目
の半分より毎年還帳は後と同と申すは三年目年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは三年目年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは三年目年

と云ふと係減して降くと申すは二入と申すは云々云々

三年目年減率より二分多し初年より二分多しと申すは三年目年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは三年目年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは三年目年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは三年目年

二年目若し初年より二分多し初年より二分多しと申すは二年目年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは二年目年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは二年目年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは二年目年

初年若し初年より二分多し初年より二分多しと申すは初年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは初年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは初年
減率より二分多し初年より二分多しと申すは初年

丙の根 上ノ根ノ式
拾二五ニ として是右の根は除くは百六拾と成る
同法して初年の年賦利率 式
少五 として初年の
年根 九百
五 と成る 惣小通して六年年根と成る

上中下の之根合して式百八拾と成る有上ノ式割中ノ式割下
ノ式割の利を加して中の之利和と上之利和の之倍入
下之利和と上之之根と等し 各 之根及利根何れと向
言ふ 上之根七拾八分 利根七五分
中之根百拾五分 利根式拾八分
下之根六拾分 利根拾八分

例云上之根を多として之利利率と成る

上之根多 之利利率多 上率多

中之利和上之利和の之倍と成る上之利利率 多 倍して 式 中之利和として中之根と成る中之根多

分三三として之利利率八分 中率と成る下之利利率ハ

上之根と等して上之根率多と下之利利率として

下之根と成る

下之根二五九三 之利利率多 下率と成

上中下之根率合して 二五九三 之根及利根 式百八
拾五分 と

除く七拾八分と均す因法は $\frac{1}{10}$ より上之銀率は $\frac{1}{10}$ 以上
て上之銀^{七拾八分}と均す亦亦と推し $\frac{1}{10}$ より上之銀の利銀は
入所云

上之率を $\frac{1}{10}$ とす 之利如率を $\frac{1}{10}$ とす

中之率を $\frac{1}{10}$ とす 之利如率を $\frac{1}{10}$ とす

下之率を $\frac{1}{10}$ とす 之利如率を $\frac{1}{10}$ とす

上中下之銀率を $\frac{1}{10}$ とす 之利如率を $\frac{1}{10}$ とす

除く入拾分と均す因法は $\frac{1}{10}$ より上之銀率と並ぶ因法と

等して各之利と均す

入

